

理科 中学校 第2学年

出題の意図及び正答率(中2)

評価の観点等

- 1 科学的な思考
- 2 観察・実験の技能・表現
- 3 自然事象についての知識・理解

分野	問題番号			出題のねらい	評価の観点等			正答率
	大問	小問	通番		1	2	3	
第一分野	1	1	1	電流や電圧計を含んだ回路図を作図できる。		○		57.7
		2	2	測定値を正確にグラフ用紙上にとり、比例のグラフを正しくかくことができる。		○		64.9
		3	3	測定値から、2つの電熱線の抵抗や電圧と電流の関係について考察することができる。	○			76.9
		4	4	電熱線の抵抗を求めるには、オームの法則を利用することを理解している。			○	65.6
	2	1	5	水が発生する熱分解の実験装置が、正しく設定できる。		○		90.1
		2	6	発生した気体のみを集めるために適した実験方法を身に付けている。		○		78.4
		3	7	水を特定する方法としての塩化コバルト紙の反応について、理解している。			○	64.9
		4	8	炭酸水素ナトリウムの加熱実験の結果から、炭酸水素ナトリウムの分解について考えることができる。	○			69.2
	3	1	9	電流が流れる導線のまわりにできる磁界の向きを調べる方法として、磁針の利用を身に付けている。		○		52.5
		2	10	電流が流れる導線のまわりにできる磁界の様子(磁力線の形状)や磁界の向きについて理解している。			○	63.9
		3	11	磁界の中で電流が流れる導線に生じる力の向きと電流や磁力の向きとを関係付けて考えることができる。	○			84.3
		4	12	磁界の中で電流が流れる導線に生じる現象と身の回りの物と関係付けて考えることができる。	○			71.1
第二分野	4	1	13	身近なセキツイ動物の種類と特徴について理解している。			○	90.4
		2	14	5種類のセキツイ動物を体温の変化を表すグラフをもとに分類することができる。	○			79.8
		3	15	体温調節を行うことができる動物の種類と名称を理解している。			○	65.4
		4	16	胎生と卵生を分類することができる。	○			66.9
	5	1	17	だ液が効率的にはたらくための条件を理解して実験ができる。		○		78.4
		2	18	ヨウ素液を青紫色に変化させる物質を理解している。			○	75.8
		3	19	ベネジクト液の反応を確かめる方法を身に付けている。		○		66.5
		4	20	だ液がデンプンを糖に変えていることを説明することができる。	○			47.7
	6	1	21	心臓から送り出される血液が流れる血管の名称を理解している。			○	39.1
		2	22	肺の気管支の先についている小さな袋の名称を理解している。			○	77.4
		3	23	赤血球のはたらきを理解している。			○	67.0
		4	24	血液の成分のはたらきと観察結果を関係付けて考えることができる。	○			59.6
7	1	25	天気図記号を読み取ることができる。		○		59.0	
	2	26	乾湿計の使い方および湿度表の読み取り方を身に付けている。		○		44.7	
	3	27	グラフから気温と湿度の関係を読み取ることができる。	○			75.2	